

事業番号	09 02 10	事業改善シート(26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	山の幸生産振興対策事業			担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	信州の木振興課	
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進			E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp	
					実施期間	H8 ~	

1 事業の概要

目指す姿	山村における貴重な収入源である特用林産物の生産振興を主体として、生産者の収入確保と地域の活性化を目指す。										
現状	○山林には、里山を利用したきのこや山菜栽培など特用林産物の生産ができる環境はあるものの、知識や技術の不足により特用林産物を生産することにより、収入の確保が行われていないので、里山を利用した特用林産物の生産が地域産業の一助となるべく、知識や技術指導が必要。										
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 林業普及指導員の持つ専門知識が必要、特用林産産地振興総合対策事業補助金交付要綱 起業支援型地域雇用創造事業交付要綱									
事業内容	① 成果目標(H26)										
	○特用林産物の栽培研修会を6回開催し、460人程度の参加者に対して研修内容の理解を図る。										
	② 事業内容 (単位:千円)										
	項目	実施方法	H26実施内容		H25 (当初)	H26 (要求) (予算案)					
	地域特用林産物商品化事業	補助	・直売所の新設・拡充など地域の人たちが行う特用林産物商品化に対する支援(15回) ・東日本大震災に伴う損害賠償請求の支援		214	186	186				
技術向上対策事業	補助	・しいたけ生産技術等研修会の開催(1回30人) ・山菜栽培技術等研修会の開催(2回60人) ・まつたけ生産者・指導者研修会の開催(3回370人)		108	108	108					
情報収集提供事業	補助	・まつたけ等発生調査(4箇所) ・しいたけホダ化積算温度調査(9箇所)		234	234	234					
里山保全と未利用木材有効活用先進モデル事業	委託	・里山の林地残材から炭を生産し有効利用を図る 先進的な取り組みを推進			4,498	4,498					
				合計	556	5,026	5,026				
事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26要求	26予算案	成果目標の達成状況				
	前年度繰越						項目	H25末 (見込)	H26		H27 目標
	当初予算	618	556	556	5,026	5,026	研修参加者数	400	目標	成果	達成状況
	補正予算								460		
	合計(A)	618	556	556	5,026	5,026					
	国庫支出金	309	278	278	264	528					
	県債										
	その他(繰入金)				4,498	4,498					
	一般財源	309	278	278	264	0					
	決算額(B)	1,236	1,112								
概算職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
概算人件費	826	826	826	826	826						
概算事業費(B(A)+C)	2,062	1,938	1,382	5,852	5,852						
指摘事項等への対応	(指摘事項等)					(対応)					
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善											
要求からの主な変更点	財源の修正(国庫補助の活用)										